

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・6月は売上規模の大きい会員向けの割引企画の開催を見送っているため、店舗全体の売上高の前年比は、3か月前とほぼ同水準ながらも、実質的には若干上向いていると考えられる。このところ厳しい推移となっていた呉服、美術工芸、眼鏡などで売上高の前年比に改善が見られる。
		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・来客数が前年をクリアしてきている。
		観光型ホテル （マーケティング 担当）	販売量の動き	・3か月前と比べると、稼働率の前年比が若干良くなってきた。しかしながら、今月も前年を大きく下回る実績になるとみられ、依然として厳しい。
		旅行代理店（代 表取締役）	競争相手の様子	・沖縄でインターハイが開催されるので、観光業界、同業他社を含め関連する業種すべてにおいて今年の夏は忙しいような雰囲気である。
		その他のサービ ス〔レンタ カー〕（営業担 当）	来客数の動き	・貸出台数が前年比106%と増加している。観光客のレンタカー利用が前年に比べて伸びている。
	変わらない	スーパー（販売 企画担当）	来客数の動き	・来客数のマイナスが続いている。
		コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・梅雨明け等で暑さが増し、季節的にアイスや飲料の販売数は一気に伸びてほぼ前年並みに推移している。客単価が前年と比べ1%減少しているのは3か月前と同じである。暑くても必要な物以外買わない傾向は変わらない。
		衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・ここ数か月、一点単価、客単価共に前年比で10%ほど上回っているものの、来客数は前年より10~20%ほど下回っている状態である。
		通信会社（店 長）	販売量の動き	・販売数の前年割れが続いている。景気は良い状態とは言えないが、前年比は悪いながらも同水準を保っており、大きな落ち込みは無く安定している。
観光名所（職 員）		来客数の動き	・施設利用者数が、前年同月比で9割台である。前年の6月、3月も9割台である。このことから、沖縄観光は回復しておらず、厳しい状況である。来園者は、修学旅行等の団体が中心である。	
ゴルフ場（経営 者）		来客数の動き	・低単価での集客が主流であるが、それによってゴルフ業界全体の利用人数が伸びたわけではない。また、コースの値下げが練習場の値下げにもつながっている。	
やや悪く なっている	家電量販店（総 務担当）	単価の動き	・エコポイント制度が一巡し、前年比の伸長率が低くなっている。併せてテレビの単価下落が一段と激しくなっている。	
	その他専門店 〔楽器〕（経営 者）	来客数の動き	・連休後は復帰の日や慰霊の日など、来客数にばらつきがある。景気の底を打った感じがするが、微妙に売上が減っている。商品も競争が激しく、在庫処分等で値引きしてやっと対応している。前年の数字の維持が精一杯である。	
	その他専門店 〔書籍〕（店 長）	来客数の動き	・3月は来客数が前年比で6%減、4月は同8%減、5月は同10%減である。前々年と前年の同時期を見ても同じような数字になっており、年を追うごとに来客数の減少傾向が見受けられる。	
悪く なっている	その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）	競争相手の様子	・周りの飲食店舗の廃業が増えている。平日の夕食（特に飲酒）をする客の減少が目立ち、少ない来客数を異常な低価格で奪い合っているため、体力がもたない。	
	観光型ホテル （総支配人）	来客数の動き	・宿泊人数で3か月前比で48.4%、前年比で81.5%と大幅に減少している。景気回復基調という経済観測の実感はまるで無い。	
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	通信業（営業担 当）	受注量や販売量 の動き	・8月、9月向けの受注案件が出てきている。

	変わらない	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築住宅及びリフォームの契約件数が横ばいで、伸び悩んでいる。
		輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・取扱貨物量や物流に関する相談は増えているが、物量増については前年比で増えているわけでもなく、季節的なものである。また、新規の相談についても現状取引業者とのコスト比較が多く、受注を目指すにも非常に厳しい単価となっている。
		輸送業（代表者）	受注量や販売量の動き	・例年落ち込み始める時期であるが、受注残があるため船がフル稼働している。特に宮古地区の活況が強く感じられる。
		会計事務所（所長）	取引先の様子	・沖縄県の主要産業である観光業は、以前は消費単価が減少しても入域観光客数は多かったが、今は入域観光客数そのものも増えていない感がある。
	やや悪くなっている	コピーサービス業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・公共機関の予算に大きく影響を受けている。
		-	-	-
雇用関連	悪くなっている			
	良くなっている			
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・新規の派遣依頼や、既存のユーザーからの追加派遣依頼が増えてきている。過去の営業先からの問い合わせ等も含め、全体の売上げが見込まれる。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者、前年同月比25.5%増加と漸次増加傾向にあるが、新規求人は同9.3%増、有効求人数は同17.6%増、就職者は6.3%増である。完全失業率7.9%は前年同月比0.7%ポイント低下と、不景気の底を打ち、微妙ながら改善傾向に転じたと思慮する。
	変わらない	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・3か月間で見ると求人数は増減を繰り返しており、大きな動きは無い。
		-	-	-
		-	-	-